

「自分で考え実行し責任をもつ」の「責任」とはということ...

研究員 橋 広行

主題名 : (3)自分で考え実行し責任をもつ 1-(3) (「私たちの道徳」 P22～)

資料名 : 「ネット将棋」

※50 分間の授業内には取り上げられないので、次時にまわしてもよいし、そのまま使わなくてもよしとする

ねらい : ○自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。

(文部科学省「私たちの道徳」活用のための指導資料 (中学校) より)

↓

しかし、この「ねらい」では**すべての行動に「自己責任」が求められてしまう (国や権力側の責任放棄) 危険性**があるのではないかと考え、下記の「ねらい」を念頭に授業を構成することにする

- 「責任」という言葉を使うことで、人間として未成熟な生徒に対して、失敗したらすべて自分の責任であるというような意識を植え付けていることに警鐘を鳴らす
- 学校のいろいろな場面で「責任」という言葉を使って、うまく生徒を指導 (操っている) している場面がないのか教員自身が検証する
- 最終的に、「支え合い」の社会 (集団) づくりのために自分に何ができるのか考えさせたい

学習過程

導入

(1) 今回の主題「自分で考え実行し責任をもつ」を板書する

Q : 「責任」という言葉の意味を生徒に問いかける

- ①自由に発言させながら、「責任」という言葉の意味をどのように意識して使っていたのかを考えさせる
- ②教室の中に「責任」という言葉が掲示されていないか、確認する
- ③国語辞典の意味をあえて紹介する
 - 1 立場上当然負わなければならない任務や義務。「引率者としての一がある」「一を果たす」
 - 2 自分のした事の結果について責めを負うこと。特に、失敗や損失による責めを負うこと。「事故の一をとる」「一転嫁」(デジタル大辞泉より)

↓

これでは、よくわからない（と生徒も思い、そのような反応をする）

「これを授業のなかで考えていきたい」と導入とする

- ここであらためて「責任」の意味を問われると、生徒は戸惑うであろう。日頃、学校で「責任」という言葉が氾濫しているのに、正しい意味を教えている場面はどれほどあるだろうか。また「責任」に「(を) もつ (とる)」と続いた場合にはどのようなことをすればいいのかも、生徒と一緒に考えたい

展 開

(1) 「私たちの道徳」の P22（資料 1）を読む

- ・生徒に読ませた場合には、教師がもう一度最後の 5 行部分を繰り返し、「責任」という言葉をもう一度生徒に認識させる

私たちは日々様々な場面で考え、判断し、行動している。
中学生になると、
自分のことは自分で決めたいという気持ちも強まってくる。
自分は深く考えて判断しているだろうか。
周囲の思惑おもわくを気にして他人の言動に左右されていないか。
自分の行動が
自分や他人にどのような結果をもたらすかということ
きちんと考えているか。
どのような小さな行為こういでも、
自ら考えて、自分の意志で決定すれば、
それに対して責任をもつという自覚が芽生える。
その自覚が、誠実に、人間としての誇りほこりをもって
生きることを支えてくれる。

資料 1

(2) 「私たちの道徳」の P23 (資料 2) を読む

- ・ 言葉を補いながら, 教師が読む
- ・ 自分で主体的に判断せずに, 他人の行動に自分が合わせたことはないか尋ねる
(ここでは「発表」などの形態は取らず, 生徒それぞれの心に意識付けをする)



ここでの問いかけが, 次の資料 3 の内容と関わってくる

毎日毎日、いろいろなことを
自分はどのように判断して実行しているのか？
自分を見つめて考えてみよう。

こんな自分がいないだろうか？



誰かに任せてしまえばラクチンだ。
逃げることができるし、知らないふりができるから。
—— でも
そんな自分はかっこいいだろうか？
そんな自分のままでよいだろうか？

資料 2

考え、判断し、実行し、責任をもつこと

考える (Thinking): 他人のことを考えているか (Are you thinking about others?), 何が正しいのだろうか (What is right?), 何が誤りなのか (What is wrong?), 結果はどうなるだろうか (What will the result be?).

判断 (Judgment): 判断は正しかったか (Was the judgment correct?), 誠実に実行できたか (Was it executed honestly?).

結果に責任をもつ (Taking Responsibility for Results): 結果に責任をもつ (Taking responsibility for the result), 他人に迷惑をかけていないか (Am I not bothering others?).

● 何かを思い立ち、実行するまでにはどんなことを考え判断する必要があるのだろうか。

- そのことは善悪に照らしてどうか
- 自己中心的な考えではないか
- 誰かの言いなりになっていないか
- 他人のことを考えているか
- 結果がどうなるか考えているか
- 結果に責任がもてるか

● 自律的に判断し誠実に実行するために、特に心掛けたことを考えてみよう。友達とも話し合ってみよう。

● 最近自分で考え判断したことにはどんなことがあるか、振り返ってみよう。

自律って何だろう

他人を見習うことは大事だが、なぜ、どこを見習うのか、自分で考え、判断することが大切だ。

自己中心のでもない。付和雷同してもいけない。自律的に生きるとはどういうことか、自分なりに考えてみよう。

資料 3

(3) 「私たちの道徳」の P24 (資料 3 右ページ) を読み、記入する

・ 記入したことをグループで交流する

(ここでは、個人の経験のことなので、グループで意見交流するにとどめる)

(4) 「私たちの道徳」の P25 (資料 3 左ページ中段) を読み、P24 で記入したことを自分でチェックしてみる

Q : 6 番目の「結果に責任が持てるか」とあるが、それはどんな責任のこと？「結果に責任が持てるか」の主語は誰？

- ① グループで意見を交流する
- ② 各グループの意見を発表し、板書し、生徒の思考を整理する
- ③ ここで次のような例をあげ、「責任」とはどういうことかを再度考えさせる

<例 1>

給食の時間になりました。

4 限目は体育で、女子が戻ってくるのが遅かったので、手伝うことにしました。

(これは悪いことではなく、自己中心のでもなく、自発的で、みんなのために手伝い、結果として給食の準備が早くなる)

みんなのスプーンを持ち上げたところ、手が滑ってしまい、スプーンを落として

しまいました。

結果的に、みんなに迷惑をかけることになりました。

自分の不注意が招いたミスなので、自分で洗いに去了きました。

→「結果に責任を持つ」のはいいことだけど、これでいいのかみんなて考える

<例 2>

ぼくは「技術家庭科」の教科係です。

昼休みに、翌日の予定を聞きに行くことになっているのですが、体育館をええる日だったので、「先週の続き、ってしとけばいいや」と聞かずにいました。

ところが、翌日は調理実習だったため、多くの人て忘れ物をしました。

この責任はどうやるとればいいですか。

→「責任をもつ」とはいうけど、こんなときまわりはどうすればいいのか考える

- ・自由に意見交流し、板書することで生徒の思考を整理する

まとめ

- ・「責任」という聞こえのいい言葉であるが、**その実体はどのようなものか**

- ・自分の「責任」ではあるが、**仲間として支えることはできないか**

スプーンをみんなで洗えば、早くすむし、失敗した人も救われる

係の仕事て忘れた人に、誰か声をかけられなかったか

↓

学校の中では、「責任」だけをクローズアップするのではなく、**失敗したときに助けてくれる仲間の存在**が大切である

その支え合いが、**次の失敗を防ぐ役割**をするのではないか

「責任」を追求するだけでなく、「お互いさま...」という感覚が必要である

その他

- ・P26 には上杉鷹山の話がのっているが、文の最後にジョン・F・ケネディも上杉鷹山を尊敬すると述べられているが、「ケネディが尊敬したからって、それがどうした」という感じである → ケネディが尊敬すれば、それはみんなが尊敬に値することなのか。

- ・P27 には曾野綾子の言葉がのせられているが、そんな名言とは思えない…。それよりも、日頃の曾野綾子の主張に問題があるのではないか。